

# オペレーションズ・リサーチ—経営の科学—

## —バックナンバーのご案内—

- |                         |                 |                        |
|-------------------------|-----------------|------------------------|
| 2001年 (Vol. 46)         | 7月号             | 社会科学における計量・数理分析の潮流     |
| 3月号 企業事例                | 6月号             | 自然災害と防災研究              |
| 2月号 認識・感情・意思決定          | 5月号             | 待ち行列理論の最近の応用           |
| 1月号 空間データ：最近の整備動向と新たな活用 | 4月号             | 官庁統計                   |
| 2000年 (Vol. 45)         | 3月号             | 公益事業における規制緩和           |
| 12月号 データ解析コンペティション      | 2月号             | ユーザのための数理計画応用          |
| —金融マーケティング—             | 1月号             | 業務改革のための原価管理：ABCとABM   |
| 11月号 ヒューマンエラーからのリカバリ    | 1997年 (Vol. 42) |                        |
| 10月号 暗号は社会を変える          | 12月号            | 高校生のためのOR(2)           |
| 9月号 最適配置問題              | 11月号            | 電子マネー                  |
| 8月号 企業事例                | 10月号            | 組織システム論の新たな展開          |
| 7月号 次世代道路交通システム—ITS—    | 9月号             | 多主体複雑系のパラダイム           |
| 6月号 スケジューリングの革新的アルゴリズム  | 8月号             | 通信・情報処理分野におけるORの実践     |
| —ラグランジュ分解・調整法—          | 7月号             | 組織知能と情報ネットワーク企業        |
| 5月号 金融・証券ビジネスとOR        | 6月号             | 文科系のためのOR教育            |
| 4月号 中堅・中小企業における戦略的情報化   | 5月号             | ORの適用事例                |
| 3月号 アルゴリズム工学            | 4月号             | ビジネスプロセスの分析手法          |
| 2月号 論文・事例研究 論文・研究レポート   | 3月号             | 流通の今日的課題と展望            |
| 1月号 経営学におけるゲーム理論と決定理論   | * 2月号           | 企業事例—トヨタの生産システム        |
| 1999年 (Vol. 44)         | 1月号             | 都市構造と省エネルギー            |
| 12月号 少子・高齢化問題II         | 1996年 (Vol. 41) |                        |
| 11月号 企業事例               | 12月号            | ゲーム理論の新たな展開と最近の適用例     |
| 10月号 パートナリング            | 11月号            | オプション理論とその周辺           |
| 9月号 少子・高齢化問題            | 10月号            | グループウェアとワークフロー         |
| 8月号 ソフトウェア信頼性評価法の新潮流    | 9月号             | ピーク電力の予測               |
| 7月号 医療システムとOR           | 8月号             | 論文・事例研究 論文・研究レポート      |
| 6月号 サプライチェーンマネジメント      | 7月号             | 統計モデル選択                |
| 5月号 大域的最適化              | 6月号             | ユーザのための数理計画入門          |
| 4月号 地球環境問題，わが国の戦略       | 5月号             | 知的生産性向上                |
| 3月号 スポーツの戦術とマネジメント      | 4月号             | 巨大プロジェクト               |
| 2月号 不動産業の再生と不動産学への期待    | 3月号             | 高校生のためのOR              |
| 1月号 AHPの発展経緯と最近の話題      | * 2月号           | 危機管理と対策                |
| 1998年 (Vol. 43)         | * 1月号           | テクノロジー・マネジメント          |
| 12月号 データウェアハウスとデータマイニング | 1995年 (Vol. 40) |                        |
| 11月号 企業事例               | 12月号            | DEA事例研究                |
| 10月号 GIS(地理情報システム)の活用事例 | 11月号            | CALS                   |
| 9月号 BOT—巨大プロジェクト実現の組織   | * 10月号          | ソフトウェア/アルゴリズムの権利保護をめぐる |
| 8月号 季節変動のマネジメント         | * 9月号           | スキャンパネルデータを用いたシェア予測    |

\*印は品切れ。価格950円(本体922円) [Vol. 42 4月号からは定価970円(本体924円)]

**(社)日本OR学会**

〒113-0032 文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
Tel. 03(3815)3351(代) Fax. 03(3815)3352

## 平成13年度 役員選出について

平成13年度・14年度役員（会長以外の理事・監事）の選出に関し、平成12年12月、13年1月号の「OR学会だより」を通じて会員各位に候補者の推薦をお願いしておりましたところ、締切日の1月31日までに、社員5名以上の方々により推薦されました候補者数は、会務分担毎の改選数と同数になりました。従いまして無投票で、候補者全員を、評議員会の了承を経て総会に提出いたします。

担当別の役員改選数と候補者名及び、平成13年度まで任期の継続している理事・監事名は下記の通りです。なお、ご参考までに候補者の略歴を添付いたします。

選挙管理人 眞 殿 宏  
忍 田 和 良

### 新役員候補者並びに次年度継続役員名簿

会 務	改選数	候 補 者 名	非 改 選 役 員 名
副 会 長	2	畑 昭 彦 森 雅 夫	前田忠昭
庶 務 理 事	1	逆瀬川浩孝	片山隆仁
会 計 理 事	0		小澤正典
研究普及理事	1	木 嶋 恭 一	川島幸之助
編 集 理 事	1	上 田 徹	小島政和
国 際 理 事	1	香 田 正 人	
無 任 所 理 事	1	大 内 東	鈴木久敏 成久洋之 山下勝比拡
監 事	1	根 本 忠 明	忍 田 和 良

### 役 員 候 補 者 略 歴

**畑 昭彦** (昭和17年11月生) 昭和44年武蔵工業大学経営工学科卒業、同年日本電気(株)入社、昭和60年同情報処理第一公共システム事業部長、平成9年同技術戦略室技術戦略統括部長、平成12年同政策調査部調査統括部長、現在に至る。

OR学会関係－平成10～11年無任所理事

**森 雅夫** (昭和17年8月生) 昭和42年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了、同年防衛大学校助手、昭和45年東京工業大学助手、昭和50年茨城大学工学部助教授、昭和57年東京工業大学工学部助教授、平成元年同教授、平成4年同大学院総合理工学研究科担当、平成8年同大学院社会理工学研究科教授、現在に至る。理学博士。

OR学会関係－昭和51～52年機関誌編集委員、昭和59～60年論文誌編集委員、昭和60～61年研究普及理事、昭和63年～平成元年評議員、平成5～6年編集理事、その他IAOR委員、表彰委員等を歴任、現在フェロー、評議員

**逆瀬川浩孝** (昭和 19 年 6 月生) 昭和 44 年東京大学理学部数学科卒業、同年文部省統計数理研究所研究員、昭和 55 年筑波大学社会工学系助教授、平成 3 年同教授、平成 5 年早稲田大学理工学部工業経営学科教授、平成 8 年同経営システム工学科教授、現在に至る。理学博士。  
OR 学会関係－昭和 53～54 年庶務幹事、昭和 54～55 年 IAOR 委員、昭和 58～59 年論文誌編集委員、平成 3～6 年機関誌編集委員、平成 7～8 年編集理事、平成 7～10 年表彰委員、平成 8～9 年評議員、現在フェロー

**木嶋恭一** (昭和 26 年 3 月生) 昭和 48 年電気通信大学卒業、昭和 55 年東京工業大学大学院博士課程修了、同年東京工業大学助手、昭和 63 年同大学助教授、平成 8 年同大学院社会理工学研究科教授、現在に至る。工学博士。  
OR 学会関係－昭和 63 年～平成 3 年機関誌編集委員、現在研究普及委員

**上田 徹** (昭和 21 年 7 月生) 昭和 46 年京都大学大学院工学研究科数理工学専攻修士課程修了、同年日本電信電話公社 (現 NTT) 入社、平成 7 年成蹊大学教授、現在に至る。工学博士。  
OR 学会関係－昭和 56～59 年 IAOR 委員、平成 8～9 年機関誌編集委員、平成 9～10 年庶務理事、現在フェロー、評議員

**香田正人** (昭和 22 年 4 月生) 昭和 51 年東京大学大学院工学系研究科航空学専門課程修了、同年カリフォルニア工科大学研究員、昭和 53 年東京大学工学部助教授、昭和 57 年日本アイ・ピーエム(株)入社、この間 IBM T. J. Watson 研究所に勤務、平成 10 年筑波大学社会工学系教授、現在に至る。工学博士。  
OR 学会関係－昭和 58～59 年研究普及委員、平成 4～5 年研究普及理事、平成 4～7 年、平成 10～11 年評議員、平成 6～7 年論文誌編集委員、平成 8～9 年度庶務理事、その他企業サロン企画委員、財政問題検討委員等歴任、現在フェロー

**大内 東** (昭和 20 年 8 月生) 昭和 45 年北海道大学大学院工学研究科博士課程修了、昭和 49 年北海道大学工学部助手、同講師・助教授を経て、平成元年同教授、平成 5 年同工学研究科システム情報工学専攻教授、現在に至る。工学博士。  
OR 学会関係－平成 6～7 年評議員、平成 8～12 年度研究普及委員、平成 9～10 年副支部長、平成 11～12 年支部長、その他研究部会主査、支部運営委員等を歴任、現在評議員

**根本 忠明** (昭和 20 年 5 月生) 昭和 49 年慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程修了、昭和 51 年青山学院大学理工学部実験講師、昭和 62 年和光大学経済学部助教授、平成 8 年日本大学商学部教授、現在に至る。

平成 13 年 4 月

(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
会 員 各 位

(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会

## 平成13年度第1回OR企業フォーラムのご案内

平素は当学会の諸活動に対し格別のご支援・ご協力を賜りまことにありがとうございます。お蔭様でORの諸活動は産・官・学各界にわたり、さらなる充実を目指した広範な取り組みが展開されつつあります。

その一環として1987年より「OR企業サロン」を創設し実施してまいりました。これは賛助会員企業のトップ経営者／ミドル管理者を主な対象として、当学会から効果的な経営戦略の策定・実施に真に役立つようなORおよび関連領域の話題を提供し、あわせてご参加の皆様の交流を深めていただくことを目的とした企画であり、幸い多数の方々からご好評をいただいて参りました。さらに、現在は対象者を広く一般学会員にもオープンにし、「OR企業フォーラム」という名称のもとに活動を続けております。

OR企業フォーラムは、講師の方の御講演をベースにOR研究の対象であるオペレーションそのものの理解を深め、さらに会員各位の課題解決のヒントにさせていただくという趣旨で進めております。

さて今日、急速に進展するIT(情報技術)革命のもと、あらゆる産業分野・生活分野でいわゆるIT化の波が押し寄せております。これらは、新たなビジネス機会を数多く生み出しておりますが、OR技術そのものが活用される場面がますます増大しております。

平成13年度も、計3回の企業フォーラムを予定しています。第1回は、東京電力株式会社の白土副社長をゲストスピーカーにお招きしました。今日、エネルギー問題、環境問題はますます大きな課題となっております。特に昨今、米国で発生した電力の自由化に伴う問題等について、白土副社長からお話を拝聴し、今後の方向と広くORについて思いをめぐらせてまいります。経営管理者層の方々をはじめ、多くの方々に奮ってご参加いただけますようご案内申し上げます。

企画・運営: 「OR企業フォーラム」企画委員会

平成 13 年度 第1回 OR企業フォーラム(5月30日 東京)

テーマ：「電力系統と電力の自由化」

ゲスト・スピーカー：

東京電力株式会社 副社長 白土 良一 氏

要 旨：昨年の夏、今年の冬、カリフォルニアの電力の自由化による輪番停電や料金の高騰が話題になったが、実際の電力会社における系統の運用状況から、ここに自由化によって参入してくる様々な電源への対応と問題点や発生してくる課題－経済性と安定性など－を紹介する。

－ 開催要領 －

場 所：学士会館会議室 320 号室 (神田)  
千代田区神田錦町 3-28  
TEL(03)3292-5931

日 時：平成 13 年 5 月 30 日(水)  
午後 6:00～8:50  
(懇親会を 8 時から行います)

－ 周辺案内図 －

	東京三菱銀行	神田税務署
神保町駅	学士会館	
至水道橋	白山通り	至竹橋
小学館	GS	共立会館
		如水会館

参加資格者：OR学会会員 参加費（無料）  
(個人正会員、学生会員、賛助会員)

－ 参加お申込みの要領 －

参加ご希望の方は学会事務局宛にお申し込み下さい。  
なお、会場の都合により参加者を 100 名程度に限らせて頂きます。  
また賛助会員のご参加は各企業 3 名以内に限らせて頂きます。  
お申し込みは E-mail にても承っておりますので、必要事項 ( ①フォーラムの開催日 ②お名前 ③所属組織・部署名 ④会員種別 (個人正会員、学生会員、賛助会員) ⑤連絡先住所 ⑥TEL または FAX 番号 ) をご明記のうえ、  
日本OR学会事務局 ( forum@orsj.or.jp )  
までご一報下さい。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 TEL(03)3815-3351 FAX(03)3815-3352

To : (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 FAX (03) 3815-3352

平成 年 月 日

「OR企業フォーラム」申込書

第 1 回《東京》平成 13 年 5 月 30 日(水) 午後 6:00～8:50

会員種別	御氏名	住 所 (連絡先)
いずれかに○印をして会員番号を記入してください	(勤務先・所属大学)	
個人正会員 ( )	( )	〒
学生会員 ( )	( )	TEL
賛助会員 ( )	( )	FAX
	( )	

日本学術会議 経営管理工学専門委員会  
第17回研連シンポジウムのご案内

統一テーマ

## ビジネスモデル特許のゆくえ

- ◇ 開催日時：平成13年6月15日（金曜日）  
13:20～17:40  
◇ 会 場：工学院大学 第5会議室（11階）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は当研連シンポジウムへのご支援ありがとうございます。このシンポジウムは、日本学術会議経営管理工学専門委員会が、その構成メンバーである7学会の協力の下に開催するもので、今回はその17回目に当たります。第17回シンポジウムは、IT革命時代の”申し子”ともいふべきビジネスモデル特許をテーマにして開催致しますので、奮ってご参加いただきたくご案内申し上げます。

国内外のIT関連企業は、インターネット関連の新ビジネスが急拡大したことに伴い、ビジネスの手法そのものを知的所有権とする「ビジネスモデル特許」に対し、今後どう対応していったらよいのか焦慮し危機感を強めています。

すでに米国では、企業がこれを武器にしてライバルをたたく訴訟合戦が始まっており、1999年4月には米国のベンチャー企業が、プリペイドカードを使用する際のインターネットの接続方式で、日本のネット接続会社やオンライン証券会社に特許侵害の可能性を訴えています。

ビジネスモデル特許は、製品や技術を対象にした従来の特許よりも適用範囲が格段に広いため、この対策の巧拙はその企業の浮沈に大きく影響するものと考えられます。しかも「ワンクリック特許」裁判に見られるように、特許の提訴から差し止めまで40日あまりという超スピード審理は、まさにビジネスモデル特許紛争の時代を印象づけました。他方、同特許の問題点を認識し、有効期限の短縮を提案し、法改正に向け業界関係者でコンセンサスを固めようという動きもあるようです。

いずれにしてもベンチャー企業が、このビジネスモデル特許をテコに成功するという現実や今後の可能性を無視するわけにはいきません。

このシンポジウムでは、こうした新しいビジネスモデル特許の現状、米国を中心にした内外の見通しや法改正の方向、わが国や企業のとるべき対応策、さらには自らのビジネスモデル特許の出願、権利化などに関する様々な問題点、あるいはその可能性について専門家に論じていただきます。

### 共 催（順不同）

- ◆日本学術会議 経営管理工学専門委員会      ◆日本学術会議 経営工学研究連絡委員会  
◆（社）日本経営工学会      ◆（社）日本オペレーションズ・リサーチ学会      ◆（社）日本品質管理学会  
◆日本開発工学会      ◆日本信頼性学会      ◆研究・技術計画学会      ◆日本設備管理学会

# プログラム

総合司会 竹村之宏  
多摩大学 経営情報学部教授

時 間	発表テーマ	発表者 (敬称略)
13:20~13:30	開会の挨拶	久米 均 日本学術会議会員 中央大学理工学部 教授
13:30~14:20	講演 (1) ビジネスモデル特許とは何か ～ I T 革命と知的財産権～	中山 信弘 東京大学 教授 大学院法学・政治学研究科
14:20~14:30	< 小 休 憩 >	
14:30~15:20	講演 (2) ビジネスモデル特許の現状と課題	今野 浩 中央大学 教授 理工学部経営システム工学科 前 東京工業大学 教授
15:20~15:40	< 休 憩 >	
15:40~16:30	講演 (3) わが社のビジネスモデル特許への取り組み	光主 清範 株式会社 東芝 知的財産部 デジタル著作権担当部長
16:30~16:40	< 小 休 憩 >	
16:40~17:30	講演 (4) 総括 日本企業におけるビジネスモデル特許戦略	酒井 一弘 酒井知財経営研究所 代表 (財)知的財産研究所 評議委員 (株)リコー前専務取締役
17:30~17:40	閉会の挨拶	柳田 博明 名古屋工業大学 学長 日本開発工学会 会長

## お問合せ先

第17回研連シンポジウムに関するお問合せは、下記の学会事務局にお願いします。

<学 会 名> (順不同)	<TEL>	<FAX>
◇日本開発工学会 (JDES)	03-3352-6077	03-3352-6087
◇(社)日本経営工学会 (JIMA)	03-5814-5801	03-5814-5820
◇(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会(ORSJ)	03-3815-3351	03-3815-3352
◇(社)日本品質管理学会 (JSQC)	03-5378-1506	03-5378-1507
◇日本信頼性学会 (REAJ)	03-5379-1235	03-5379-1393
◇研究・技術計画学会 (ISSPRM)	03-3341-0481	03-3341-0481
◇日本設備管理学会 (SOPE-J)	03-5814-5801	03-5814-5820

## 第17回研連シンポジウム開催要項と参加申込手続き

**開催日時** 2001年6月15日(金) 13:20~17:40

**開催会場** 工学院大学 第5会議室(11階) 東京都新宿区西新宿1-24-2  
◇JR新宿駅 西口より徒歩5~6分  
◇地下鉄丸の内線 新宿駅下車 徒歩5~6分  
◇都営大江戸線 都庁前駅下車 徒歩5~6分  
◇小田急線、京王線 新宿駅より 徒歩5~6分

**参加費** 資料代として4,000円(学生1,000円)いただきます。  
◇参加費は、開催当日に受付でお支払いください。  
◇講演資料は、参加者ご本人にのみ配布いたします。

**定員** 150名  
◇定員に達し次第締め切らせていただきます。  
◇定員に余裕がない場合、開催当日の参加申込は受け付け出来ませんのでご了承ください。

**申込方法** 参加申込書に必要事項をご記入の上、下記の申込先にFaxまたは郵送でお申込み下さい。  
E-mailでお申込みの場合には、\*参加者氏名 \*所属学会 \*所属機関名 \*所属部署・役職名 \*住所 \*電話番号を明記してお申込みください。

**申込先** 日本開発工学会 事務局 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-2  
Tel.03-3352-6077 / Fax.03-3352-6087  
[E-mail] info@kaihatu.net [URL] http://www.kaihatu.net

日本学術会議 経営管理工学専門委員会

### 第17回研連シンポジウム参加申込書

大学・会社等 所属機関名：	所属学会名
連絡先住所：〒	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生

参加者氏名	所属部署・役職名	TEL.	FAX.

©日本オペレーションズ・リサーチ学会。無断複写・複製・転載を禁ず。



# 会場（工学院大学）案内図

新宿駅西口より徒歩5分

〒163-8677 新宿区西新宿1-24-2

